

課題名	重症 COVID-19 患者の栄養管理の実際
承認番号	2022-2 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 栄養課 氏名 大川 李絵
研究期間	(西暦) 2022 年 3 月 ~ (西暦) 2023 年 3 月
研究の意義・目的	重症 COVID-19 患者さんは、急速に大きな侵襲が加わると考えられ、短期間で栄養状態の悪化、筋肉量の減少をきたしやすいと言われており、早期からの適切な栄養管理が重要になります。また、栄養障害のある COVID-19 患者さんの死亡率は、10 倍高いとの報告もあります。 今後より適切な栄養サポートを行うために、重症 COVID-19 患者さんのこれまでの栄養介入状況を振り返ると共に、今後の業務の改善も含めた検討を行います。
研究の方法 (対象期間含む)	2020 年 2 月~2021 年 10 月の期間で ICU に入室し、人工呼吸管理を要した重症 COVID-19 患者さんを対象に、入院時に栄養障害のリスクがある患者さんに適切な栄養介入が実施されていたかをカルテの情報をもとに調査します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	データはカルテより抽出し本研究の目的以外には使用しません。データベースは当院の電子カルテのファイルサーバーに置き、対応表を作成し、情報を匿名化します。匿名化した情報はファイルにパスワードを設定し、パスワード設定したパソコン内にて厳重に管理します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、BMI (Body Mass Index)、APACHE (acute physiology and chronic health evaluation) II score、人工呼吸期間、消化器症状・腹臥位療法の有無。栄養スクリーニングとして ICU 入室時の mNUTRICscore (modified Nutrition risk in critically ill score) と GNRI (Geriatric Nutritional Risk Index)。栄養管理の指標として、ICU 入室 7 日目のエネルギー充足率と蛋白投与量 * APACHE II score : 集中治療室入室患者さんにおける病態の重症度を客観的に評価するために作られた予後予測法 * mNUTRICscore : ICU 患者さんを対象として開発された栄養リスクアセスメントツール * GNRI : 高齢者の栄養評価法
試料・情報を 利用する者の範囲	特になし
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 栄養課 大川 李絵
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 栄養課 氏名 大川 李絵 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101